

# 鴨川の大氾濫時における ソフト面の防災強化

同志社大学政策学部 真山ゼミ 1 班  
生島・上田・宍戸・中村・西田・福永・松浦

# 目次

1. はじめに
2. 水害に対する防災意識
3. ハザードマップの有効性、浸水域の一致
4. ハザードマップの認知度
5. アンケート結果
6. ハザードマップの世代ごとの認知状況
7. 課題
8. 政策提言
9. おわりに

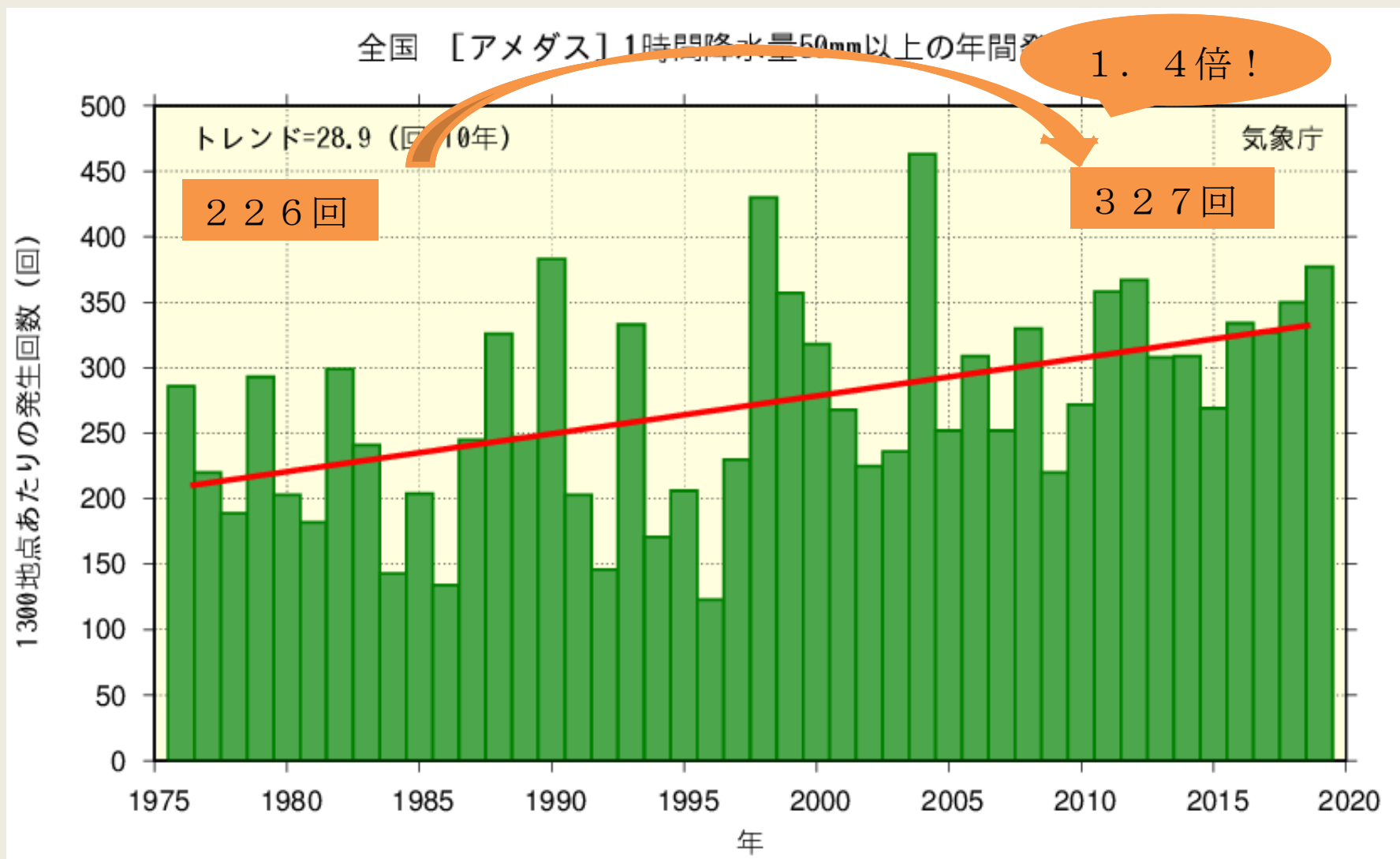
# 1. はじめに

1935年6月



【出典】京都市消防局 ※1

# 「非常に激しい雨」の年間発生回数



棒グラフ(緑)は各年の年間発生回数、  
直線(赤)はこの期間の平均的な変化傾向を示す。

【出典】気象庁 大雨や猛暑日などの  
これまでの変化 ※2 4

2018年7月 氾濫注意水位レベル2



【出典】 京都新聞 ※3



## 護岸整備



【出典】写真ブログ  
～京都鴨川の鳥たちと神社・寺※5

## 防波堤の設置



【出典】京都ぐらしの心学者ブログ※6

ハード面での対策は取られてきた

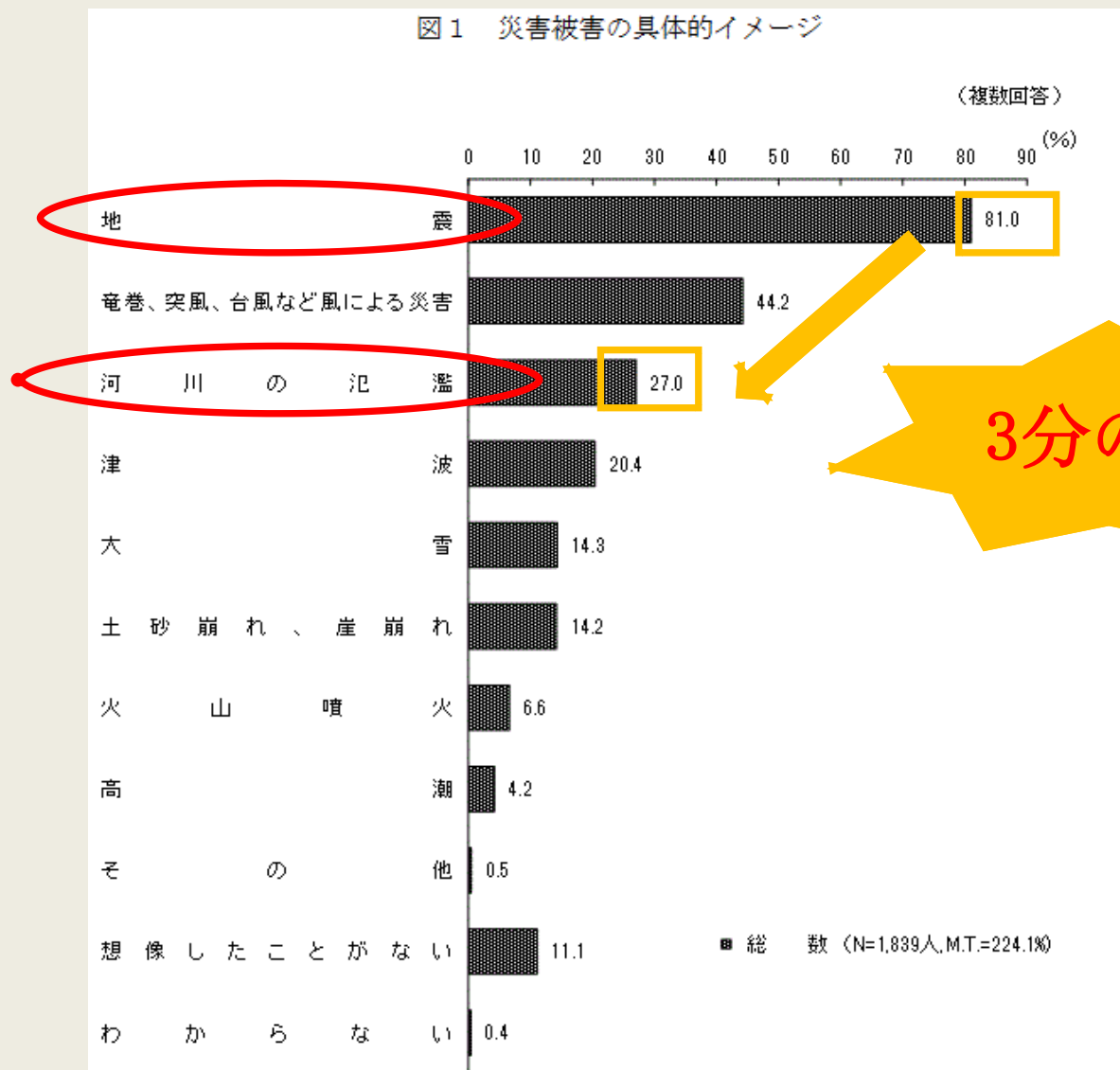


近年、想定を超える豪雨や異常気象により  
ハード面での対策は限界



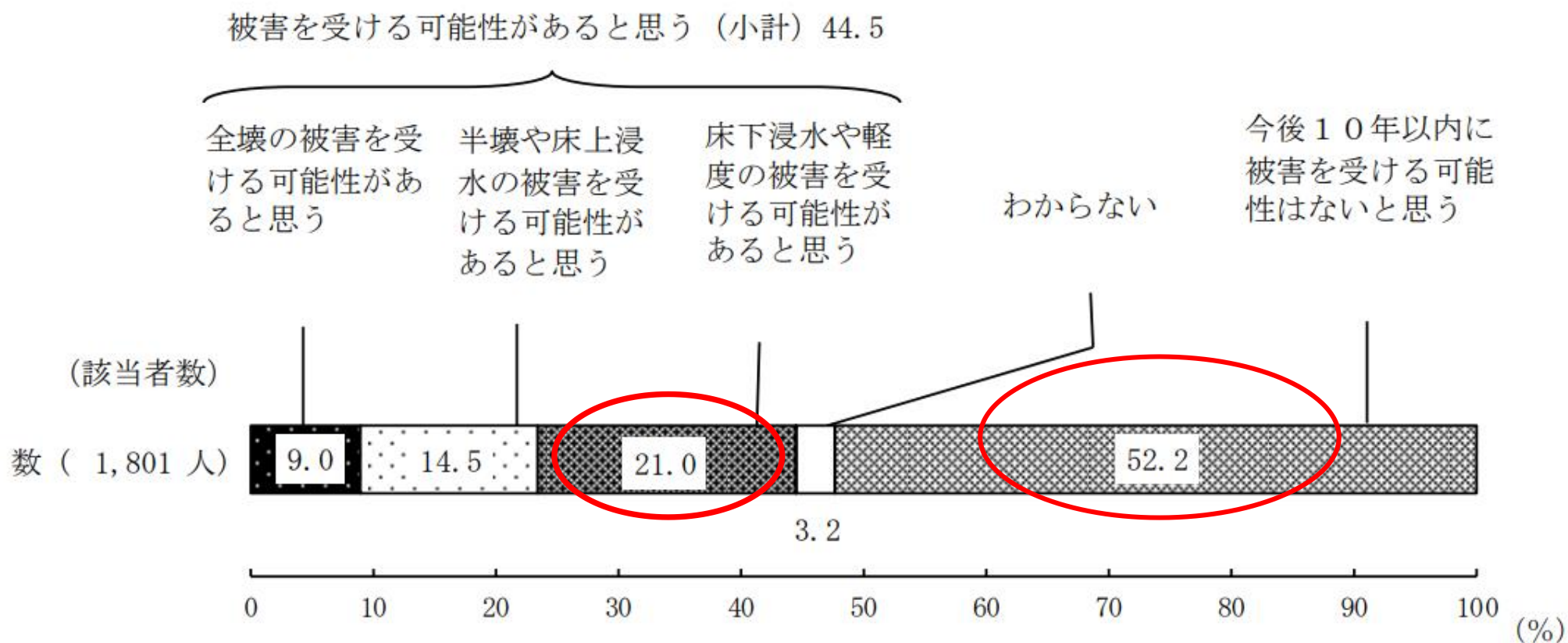
**ソフト面での対策強化が必要**

## 2. 水害に対する防災意識



【出典】内閣府  
「防災に関する世論調査」平成30年  
※7

## 2. 水害に対する防災意識

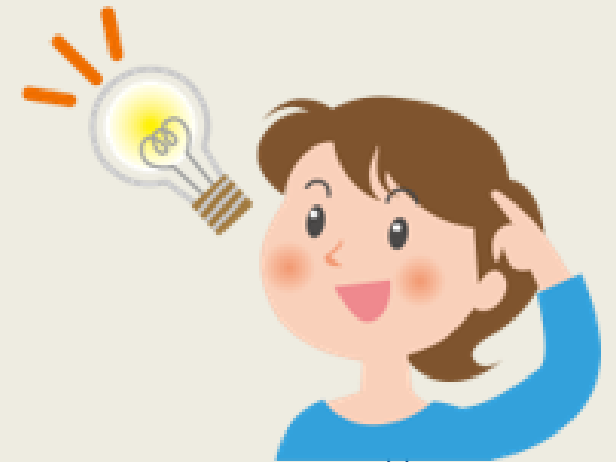




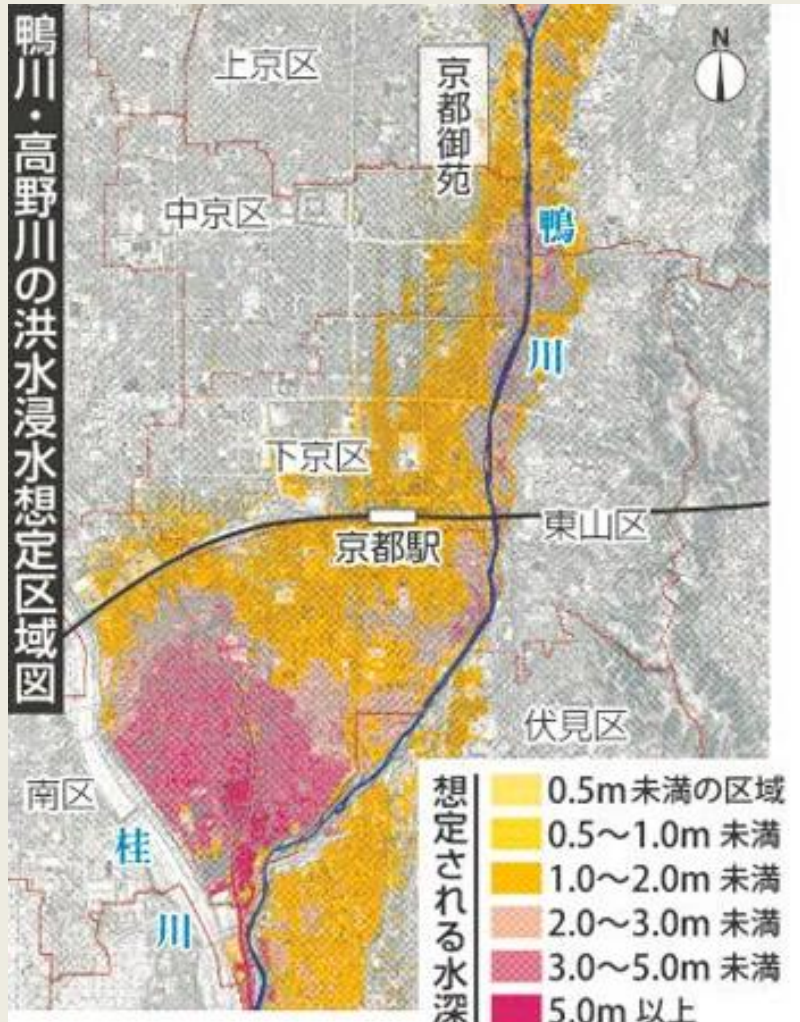
水害に対する人々の意識が低い



「水害で自分自身に被害が及ぶことが  
あまりない」と認識している  
人が多い



### 3. ハザードマップの有効性

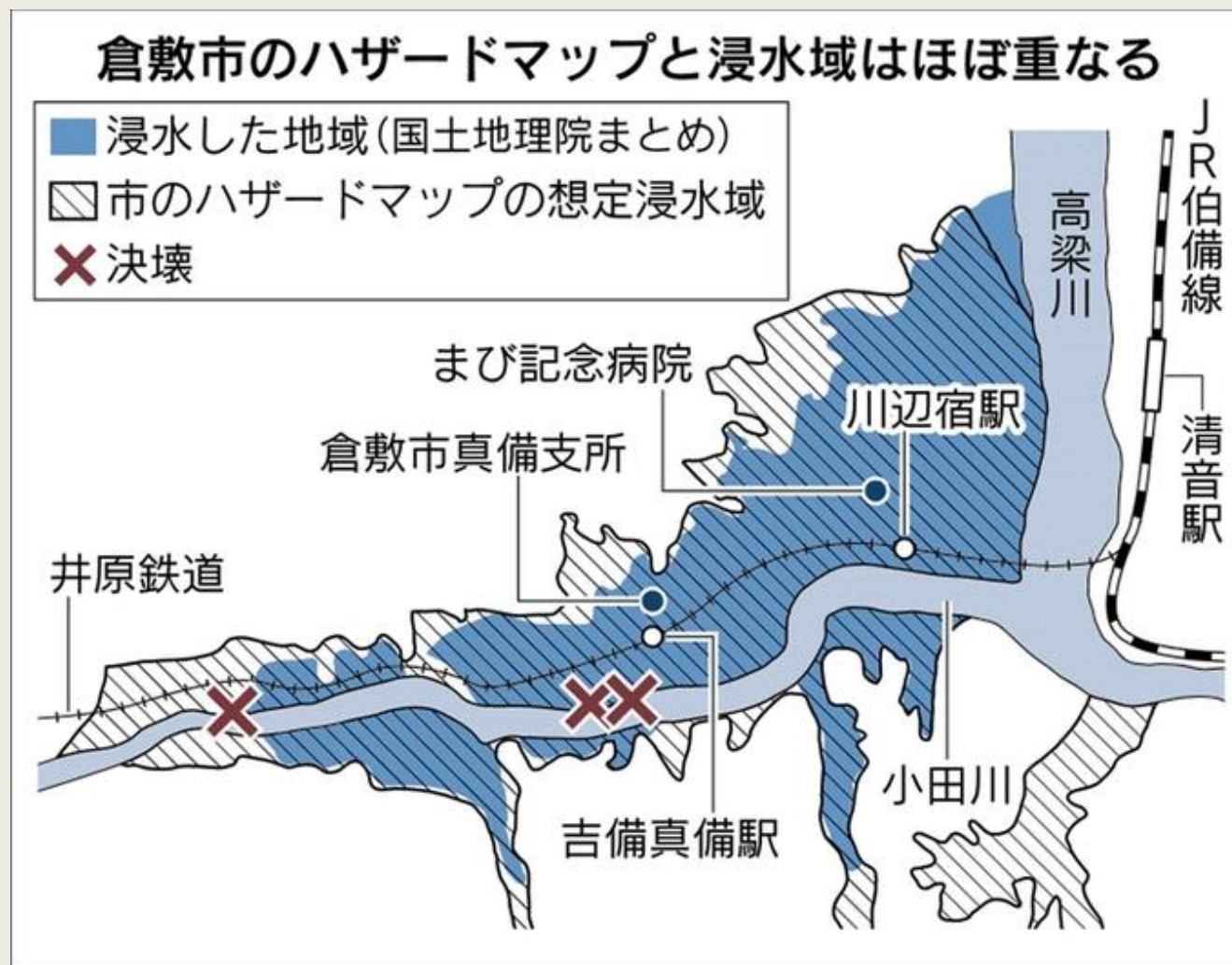


【出典】 京都の現在（いま）を  
不動産からキリトルWEBサイト ※9

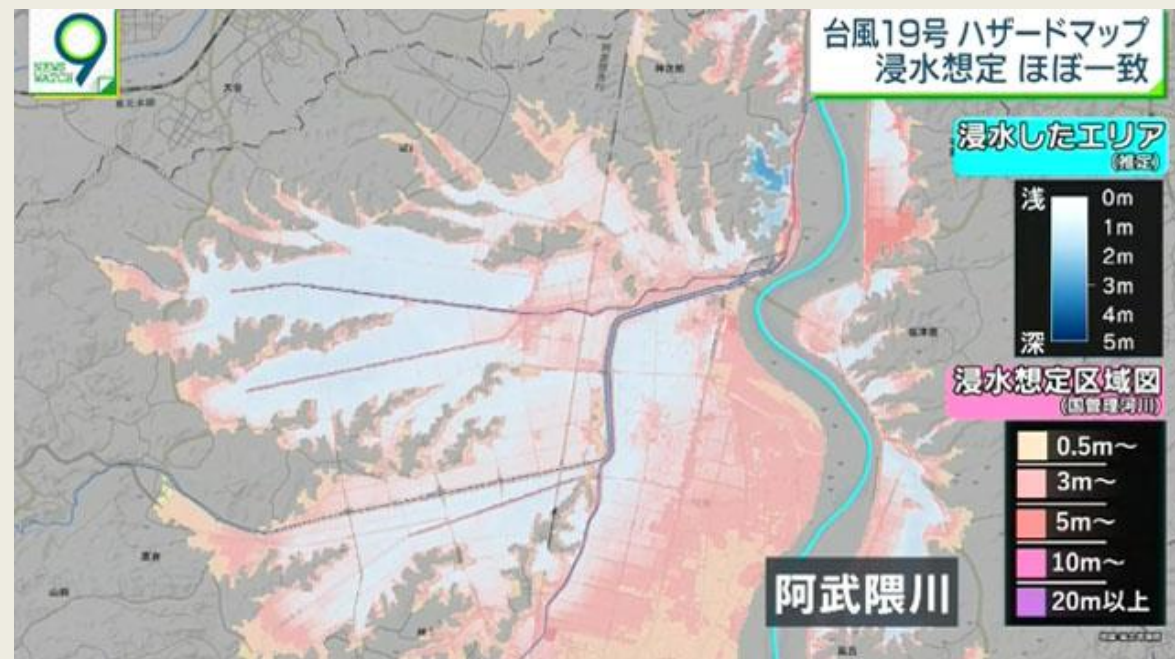
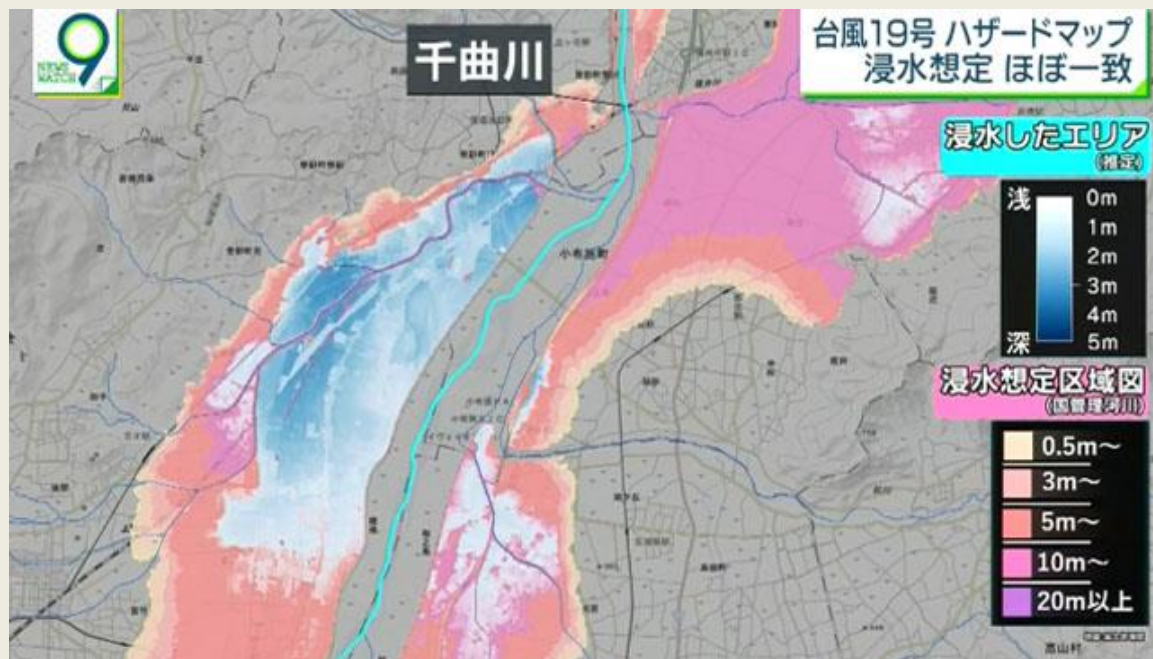
#### ハザードマップとは？

- ・ 水害の被害を軽減するための対策法
- ・ 水防法に基づいている
- ・ 河川の流域市区町村が作る
- ・ 浸水予想区域や避難場所、避難経路などを分かりやすく地図上に表したもの

### 3. ハザードマップと浸水域の一致①



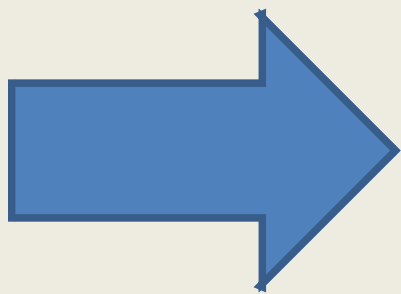
### 3. ハザードマップと浸水域の一致②



【出典】NHK「ハザードマップ どう避難につなげるか」2019年

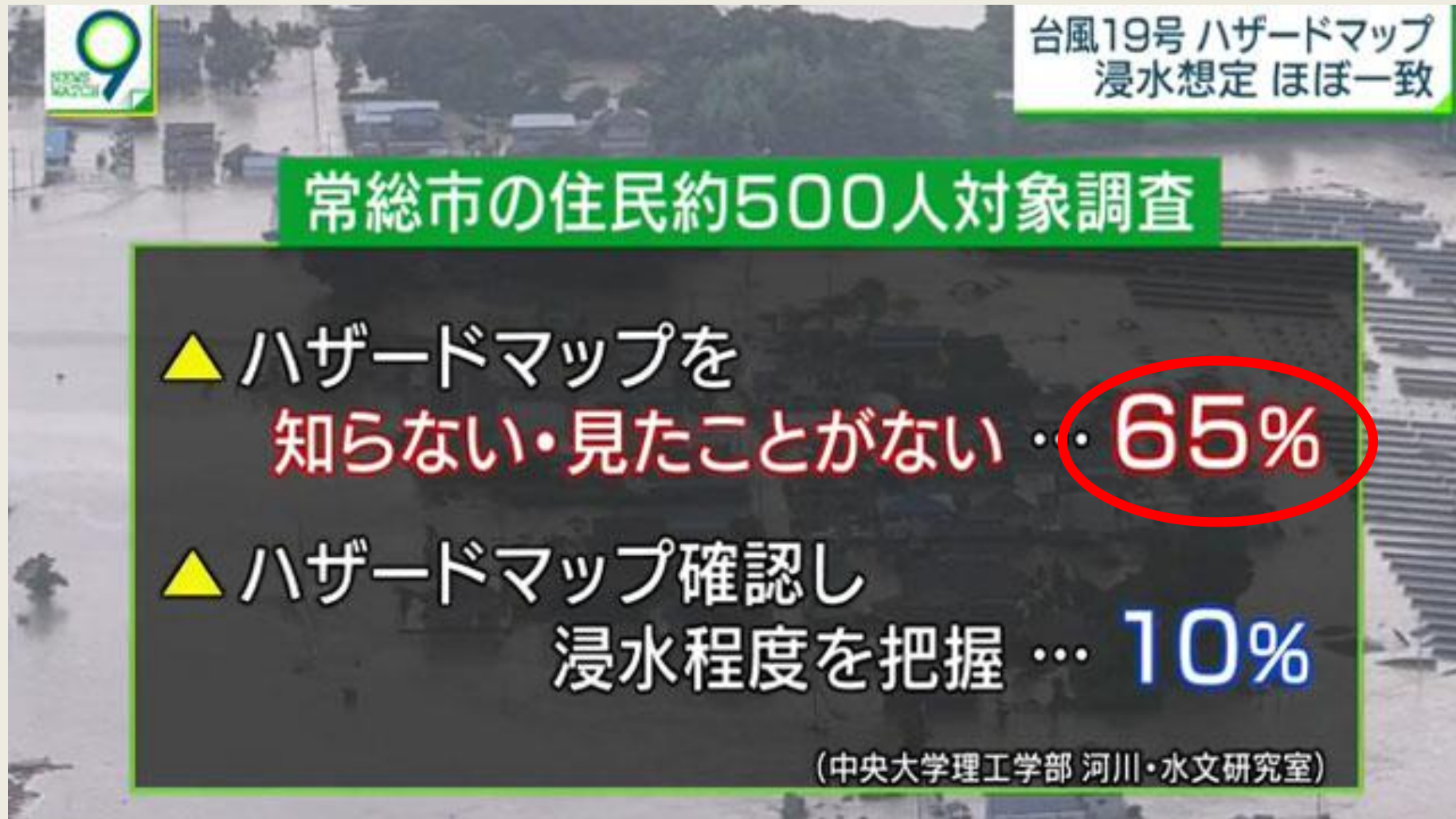
※11 ※12

洪水ハザードマップは  
実際の浸水被害を比較的正確に  
予想している



水害対応にとって有効

## 4. ハザードマップの認知度の低さ



# 京都市の場合

- 市外出身の学生が多い

➡ 水害に対する危機感やハザードマップの  
認知度に問題がある

- 学生は防災において貢献できる可能性が高い



# アンケート実施



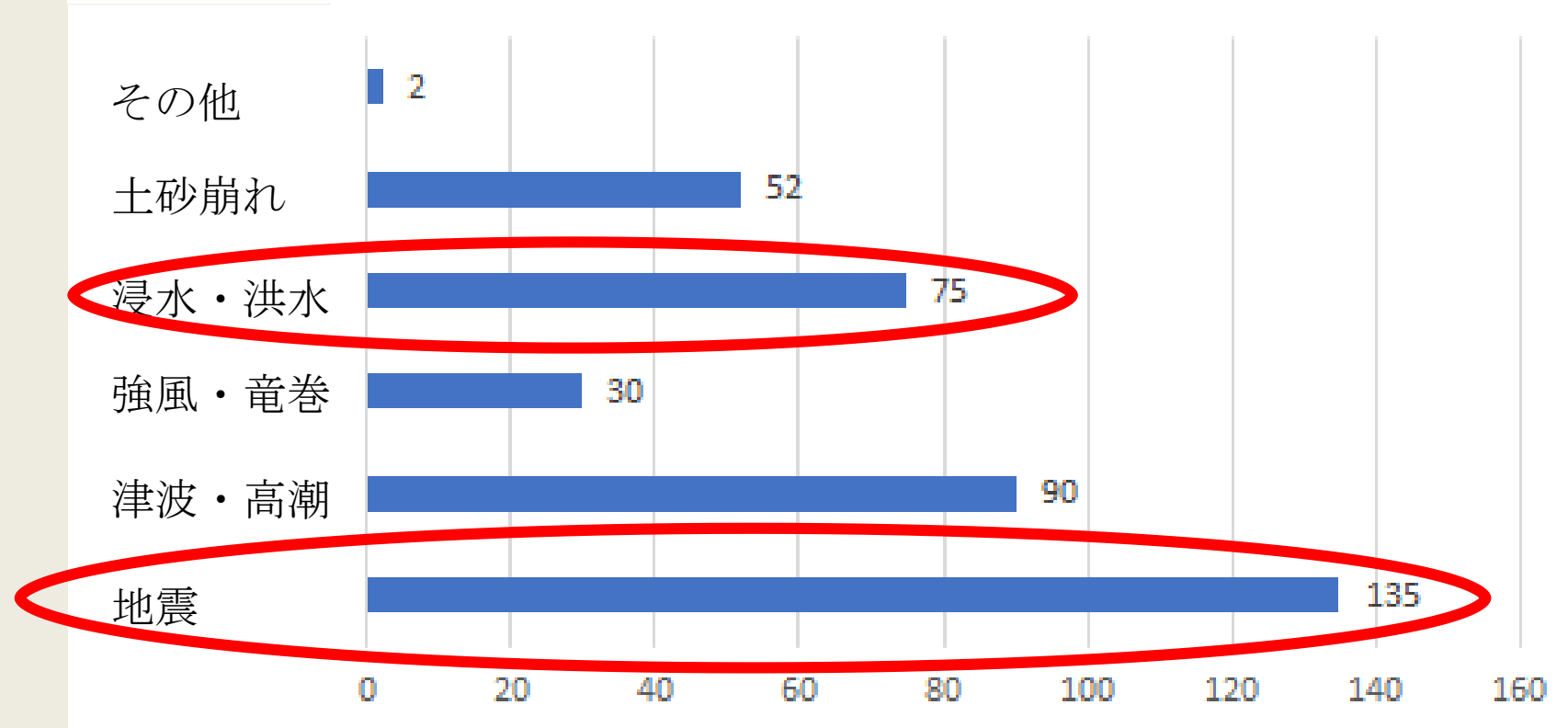
■ 対象：京都市内の学生

■ 自宅生 6 4 人

下宿生 7 3 人

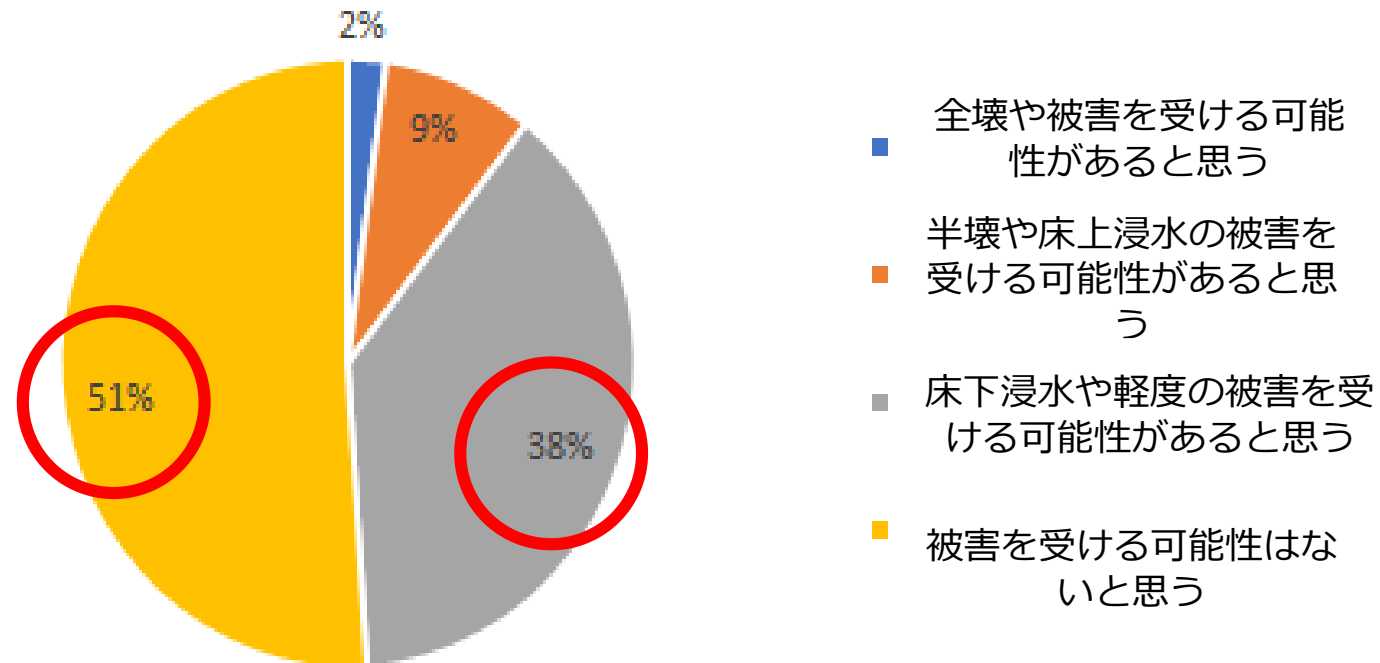
## 5. 京都市に住む大学生のアンケート結果①

自然災害と聞いて想像するものは何ですか（3つまで）



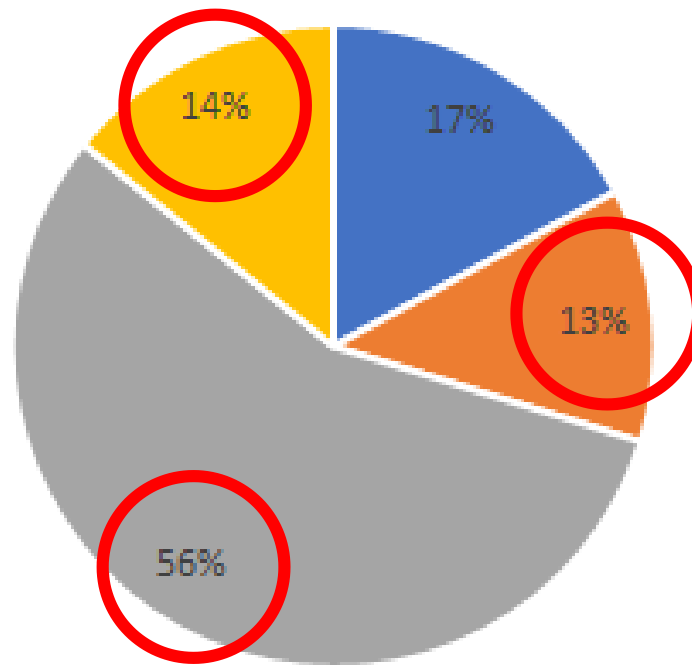
## 5. 京都市に住む大学生のアンケート結果②

あなたの家は、今後10年以内に台風や集中豪雨により、洪水、高潮、土砂崩れなどによる水害を受ける可能性ありますか



## 5. 京都市に住む大学生のアンケート結果③

洪水ハザードマップを見たことがありますか



- 見たことがあり、内容も理解している
- 見たことはあるが内容は理解できず
- 存在は知っていたが見たことはない
- 存在すら知らなかった

# アンケート結果

- 水害の深刻な被害を受ける可能性があると考えている学生

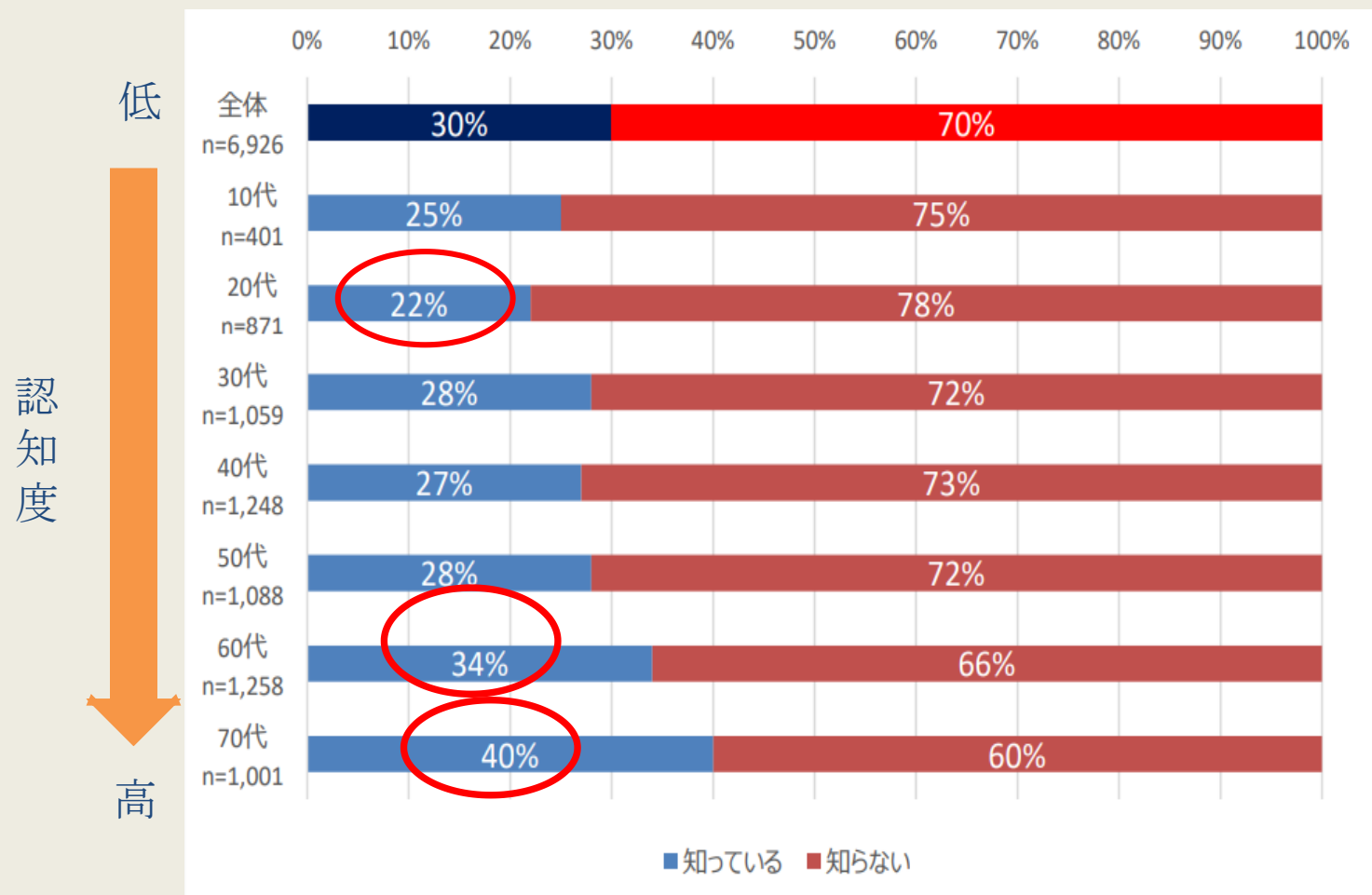
→ 20%以下

- ハザードマップの内容を理解していない学生

→ 80%以上

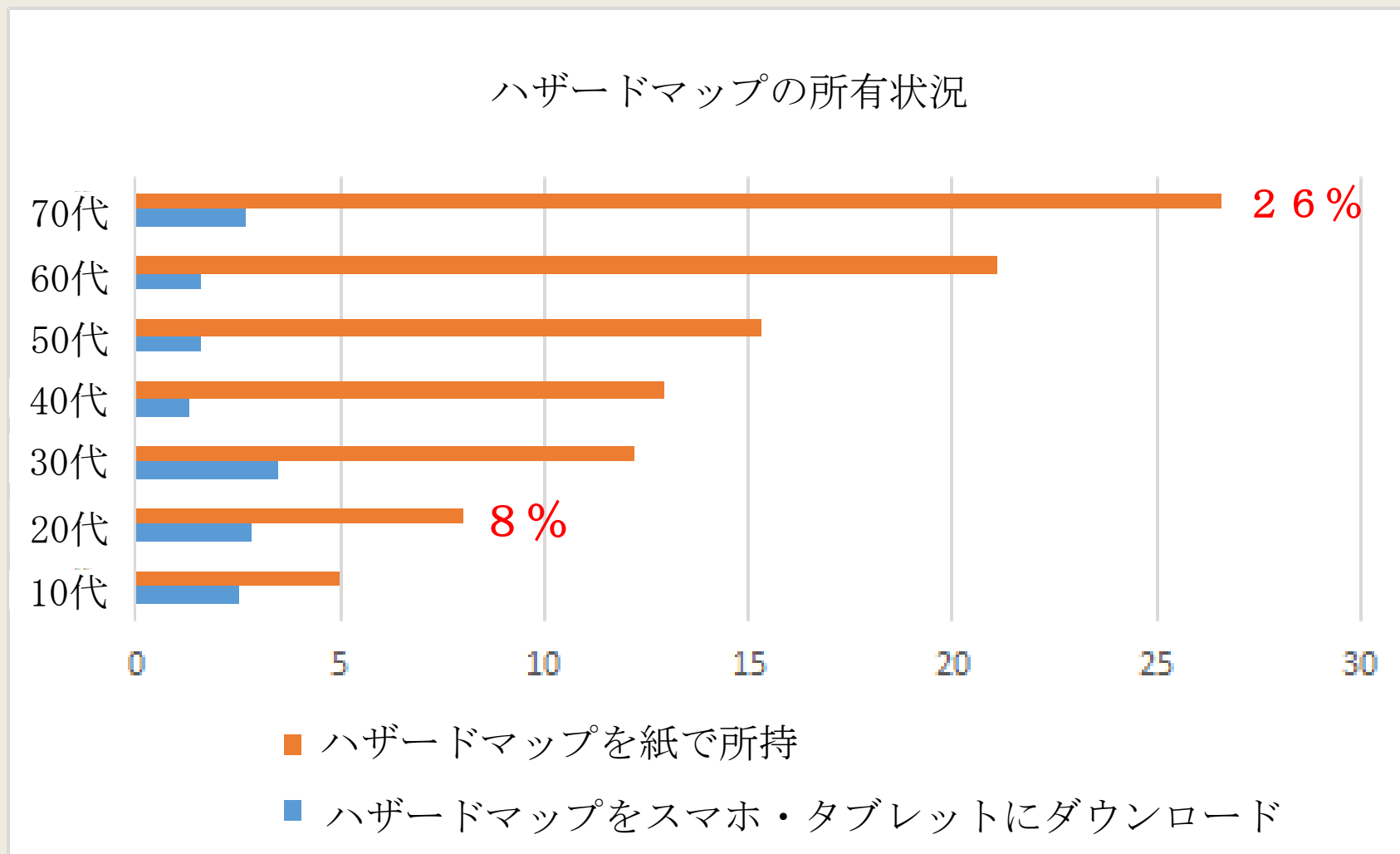
## 6. ハザードマップの認知状況

ハザードマップの認知度（年代別）  
調査対象：全国の15～79歳 男女



【出典】株式会社NTTドコモ  
モバイル社会研究所 ※14

## 6. ハザードマップの認知状況

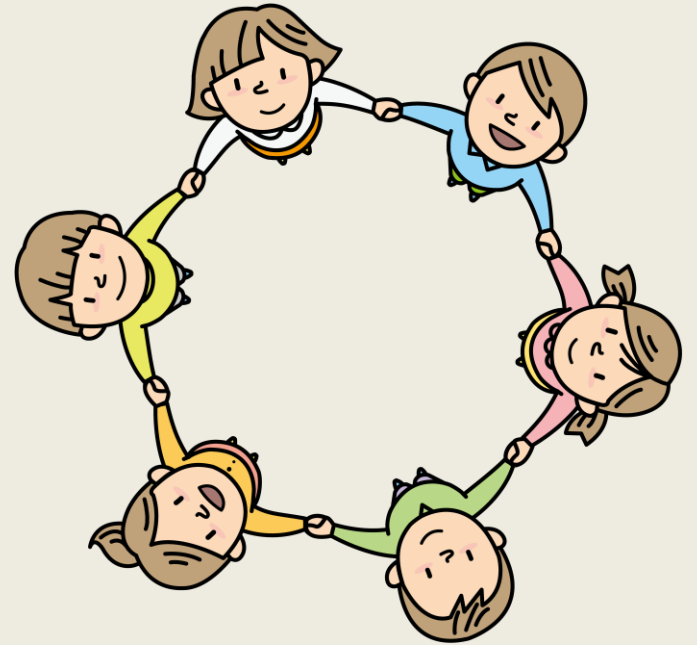


## 7. 課題

- 学生など若い世代で危機感がない
- ハザードマップが浸透していない

→ 学生の街、京都として、  
学生の意識と認識を変える

→ 水害が発生した場合に  
多くの学生が避難や救援に貢献できる



## 8. 政策提言

# 大学生に授業を通して 周知させる



# 背景：防災意識の周知

小、中高校では  
定期的に避難訓練が実施される



大学では掲示板などでしか  
学生に周知する方法がない



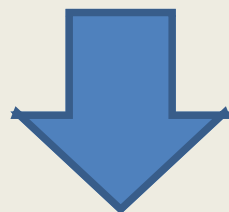
【出典】沼島中学校 避難訓練&防災講義

※15

## 8. 政策提言

大学生に授業を通して周知させる

- Eg)
- ・ 一般教養科目に防災や危機管理関係という科目を導入
  - ・ PBL科目に水害の実態や避難誘導などについて体験型の学習



地震など認知度が高い災害よりも、  
京都市で見落とされがちな水害に焦点



## 9. おわりに

大学のカリキュラムに取り込む



【出典】コトカレ ※16

学生の防災意識が高まり、ハザードマップへの理解が深まる

学生の多い街であることを活かし、学生が地域住民の  
人的被害を最小限に抑えることに貢献

# 【画像引用】

※ 1 <https://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000159190.html>

※ 2 [https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme\\_p.html](https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html)

※ 3 <http://www.kyoto-np.co.jp/top/article/20180706000235>

※ 4 <https://www.kyoto-yuka.com/access/>

※ 5 <http://kyotokamogawa.cocolog-nifty.com/blog/2019/04/post-de5ccf.html>

※ 6 <http://kyotogurashi.shingakukenkyusha.co.jp/?eid=109>

※ 7 <https://survey.gov-online.go.jp/h29/h29-bousai/gairyaku.pdf>

<https://survey.gov-online.go.jp/h29/h29-bousai/zh/z01.html>

※ 8

<https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&ved=2ahUKEwjEwYzjqKztAhWPx4sBHfr9AykQFjAAegQIBBAC&url=https%3A%2F%2Fsurvey.gov-online.go.jp%2Ftokubetu%2Fh27%2Fh27-suigaig.pdf&usg=A0vVaw0Hp8m8zfr6gILLvXnY4z2T>

※ 9 <https://kyoto1192.com/heavy-rain-kamogawa-in-kyoto/>

※ 10 <https://r.nikkei.com/article/DGXMZ032872140R10C18A7CC1000?s=6>

※ 11 ※ 12 ※ 13

<https://www9.nhk.or.jp/nw9/digest/2019/10/1025.html>

※ 14 [https://www.moba-ken.jp/project/disaster/disaster\\_reduction\\_ict20200123.pdf](https://www.moba-ken.jp/project/disaster/disaster_reduction_ict20200123.pdf)

※ 15 [http://minami.aw-](http://minami.aw-ansin.net/ansin/user/3004/blog/showDetail.do;jsessionid=69D116E1FA62DD0BD384E0CBFDDC8C9E?articleId=447)

[ansin.net/ansin/user/3004/blog/showDetail.do;jsessionid=69D116E1FA62DD0BD384E0CBFDDC8C9E?articleId=447](http://minami.aw-ansin.net/ansin/user/3004/blog/showDetail.do;jsessionid=69D116E1FA62DD0BD384E0CBFDDC8C9E?articleId=447)

※ 16 <https://kotocollege.jp/archives/7508>

A grayscale landscape photograph showing a wide river in the foreground with a series of rectangular stepping stones crossing it. In the middle ground, there are several buildings, including a prominent multi-story one. The background features rolling hills and mountains under a sky with scattered clouds. The overall tone is serene and natural.

ご清聴ありがとうございました